

みずほCustomer Desk Report 2020/05/28号 (As of 2020/05/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.53
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.50	1.0979	118.02	1.2332	0.6646
SYD-NY High	107.95	1.1031	118.90	1.2354	0.6680
SYD-NY Low	107.37	1.0934	117.72	1.2201	0.6568
NY 5:00 PM	107.72	1.1009	118.61	1.2263	0.6625
NY DOW	25,548.27	553.16	日本2年債	-0.160	0.00bp
NASDAQ	9,412.36	72.14	日本10年債	0.000	0.00bp
S&P	3,036.13	44.36	米国2年債	0.18	1.02bp
日経平均	21,419.23	148.06	米国5年債	0.35	0.64bp
TOPIX	1,549.47	14.74	米国10年債	0.69	0.01bp
シカゴ日経先物	21,655.00	365.00	独10年債	-0.4165	1.45bp
ロンドンFT	6,144.25	76.49	英10年債	0.1900	▲2.20bp
DAX	11,657.69	153.04	豪10年債	0.8980	2.10bp
ハンセン指数	23,301.36	▲83.30	USDJPY 1M Vol	5.25	▲0.18%
上海総合	2,836.80	▲9.74	USDJPY 3M Vol	5.75	▲0.33%
NY金	1,710.70	5.10	USDJPY 6M Vol	6.55	▲0.34%
WTI	32.81	▲1.54	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	129.16	▲2.46	EURJPY 3M Vol	7.40	▲0.19%
ドルインデックス	99.06	0.15	EURJPY 6M Vol	7.96	▲0.44%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月27日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	2.7%
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	-27	-40

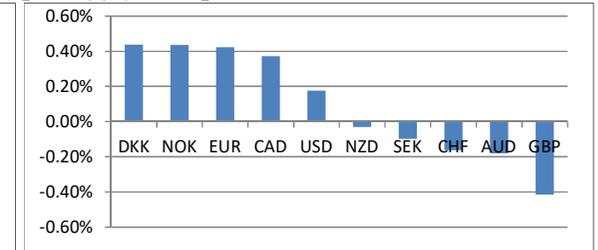
Date	Time	Event	予想	前回
5月28日	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	5月 -26.5	-30.4
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 -0.1%/0.6%	0.4%/0.9%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	4月 -19.1%	-15.3%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	4月 -15.0%	-0.6%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q -4.8%	-4.8%
	21:30	米 個人消費	1Q -7.5%	-7.6%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	1Q 1.8%	1.8%
5月29日	00:00	米 新規失業保険申請件数	-	2100k
		米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	2438k

東京	東京時間のドル円は107.50レベルでオープン。前日の海外時間に売られた流れを引き継ぎ、一時107.37まで下落。ただし、仲値にかけては買いが優勢となり、107円台半ばまで上昇。買い一服後は同水準で揉み合い推移し、結局107.54レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.54レベルでオープン。欧州委員会の復興計画に関する報道を受けてユーロ買いが優勢となり、ユーロ円に牽引されるかたちでドル円は107.82まで上昇し、107.81レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2324レベルでオープン。午前中はユーロの連れ高となり、1.2354まで上昇。その後、利益確定とみられるポンド売りが入り、1.2314レベルでNYに渡った。(ロンドンFTリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	ドル円は107.81レベルでNYオープン。朝方はドルの売られ過ぎ感や、英国側がブレグジットを巡ってEUと未だ大きな隔りがあることをコメントしたことからドルが買い戻される展開に107.95まで戻す。株式市場は米中問題がくすぶるものの、国立アレルギー感染症研究所長のファウチ博士が、11月か12月までにワクチン開発の可能性があるとの発言をし、各国が再開に向かっていくとの見方から大幅高で寄り付く展開に、再びドル売りが持ち込まれ107.70まで反落する。正午前にはドル買いが優勢となり、107.87まで戻す。午後は米政府が香港向けの優遇関税停止を検討との報道を受けややドル買いが強まる局面もあったが、株高を背景にドル売りが強まり、107.66まで下落し、107.72レベルでクロスした。一方、予想以上の欧州救済基金の提案を好感し、海外市場でユーロ全面高となり、今月初めに付けた1.1019を抜け、一時1.1031まで上昇したユーロドルは、1.1018レベルでNYオープン。朝方はドルが買い戻される展開に1.0977まで反落する。その後リク志向から1.1021まで戻す局面もあったものの、救済基金にはEU27全加盟国の承認が必要であることから利益確定の売りが持ち込まれ1.0956まで反落する。午後は堅調な米株の動きにドル売りが優勢となり、1.1009レベルでクロスした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 リスクオン継続

株価やコモディティ価格が急激に上昇する中でも、ドル円相場は不思議なほど動かない。ただ、為替市場全体で見ると通貨の強弱に変化が現れている。コロナウイルスの感染拡大が意識されてきた3月・4月、為替市場では安全通貨とされるUSDとJPYが大きく買われてきた。しかし、市場の楽観が強まり始めた先週18日からのG10通貨の強弱を見てみると、USDは全ての通貨に対して下落している。対USDで最も上昇したのはNZDで約+3%、次いでAUD、NOK、CADがいずれも+2%近く上昇。JPYはUSDと同じような動きで、対USDでほぼ横這い推移する一方、他通貨に対しては売り越しとなった。USDとJPYが他通貨に対して同じ方向に動いていることが、ドル円の膠着感に繋がっている。

韓国や中国で観測されつつある感染第二波や、米中摩擦などネガティブな材料も燻っているものの、マーケットはそれほど過敏に反応していない。一方で本邦の補正予算や欧州の復興基金案など、各国の経済対策には素直に株高で反応しており、既に悲観相場は終わったという印象を受けている。未曾有の規模で行われる金融緩和にもサポートされ、リスク資産買い戻しの流れは暫く続きそうだ。(谷舗)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 谷舗・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13